
研究所だより

第310号
2011年6月27日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

＜学習のつまずきへの具体的な指導＞－桂 聖、廣瀬 由美子編集「授業のユニバーサルデザイン」より抜粋
日々の教室活動の中で、こんな子はいませんか。代表的な事例をピックアップ。

1, 話を最後まで聞けないため、聞いた内容を理解することが難しい

事例1 A君は(小2)、普段から落ち着きがなく、指示の聞きもらしが多い子です。集中が途切れると姿勢が崩れ、なかなか話を最後まで聞けません。聞き取った内容も間違いが多く、指示通りに行動することが苦手です。

指導例 ①姿勢と視線を確認しましょう

集中が長く続かない子にとって、一つの姿勢を保ち続けることはとてもエネルギーが必要です。指示を伝える前に、姿勢を正し、視線がこちらに向いているかを確認しましょう。「一度だけしか言わないよ」といった、注意を喚起するような事前予告も効果的です。

②指示は短く、一つだけ

複数の指示を出すと、最初の部分だけを聞いて衝動的に行動してしまったり、最後の部分だけしか聞き取れず手順が理解できなかつたりします。聞き取りやすくするために、指示の項目と内容をしぼります。

③わかりやすい言葉で言い換える

伝える指示の内容が分かりにくいと聞き取ろうとする意欲が高まりません。A君が知っている言葉で言い換えるようにします。

④「できるだけ褒める」よりも、「途中で励ます」支援

「指示通り行動できたら褒められた」というハッピーエンドの場面がA君を育てます。しかし、A君のような子どもの多くが「最後までできた!」というところまで辿り着けずに、途中であきらめてしまうことが少なくありません。そこで、「できたら褒める」だけでなく、「途中で励ます」ようにします。高学年の場合は、目立った励ましを嫌がることもありますので、さりげない励ましを心がけるようにしましょう。

2, 思いや考えがまとまらないため、わかりやすく話すことが難しい

事例2 Bさんは(小4)、学習への参加意欲が高く、挙手も多いのですが、発言を始めると、まとまりのない話を繰り返してしまいます。物事を筋道たてて考えたり、相手にわかりやすく伝えたりすることが苦手で、話が長くなりがちです。

指導例 ①普段の会話のルールを見直す

授業だけが指導・支援の場面ではありません。普段の会話の中で学べることもたくさんあります。例えば、話し始める前に「うまく伝えられないかもしれないんだけど・・・」と前置きを入れると、聞く側も心の準備ができます。話の途中で口を挟んでしまう子であれば、「ちょっといい?」という前置き言葉のスキルを練習すると良いでしょう。

②「話したい」「伝えたい」という意欲を失わせないように

話したいことがたくさんあること自体は悪いことではありません。Bさん自身も上手なまとめ方ができていないことや、何となく自分の発言が受け入れられていないという感覚を感じています。「Bさんが話す、話が長くなる」という雰囲気がクラスに漂うと、「伝えたい」という意味そのものを失わせかねません。失敗に寛容で、再挑戦を奨励するクラスをつくりましょう。

③話し方もフォーマットを活用する

発言の際は、フォーマット(型)を活用します。Bさんであれば、結論から先に話すというフォーマットがあると、それに合わせて話しやすくなります。

- ・「それは、〇〇です。〇〇は、△△という特徴があります。」
 - ・「私は、〇〇だと思います。なぜなら、△△だからです。」
- など、話そうとする内容を整理しやすくするポイントを示します。

＜一日教研日程＞

8月25日(木)の一日教研の日程が決まりました。
午前一部会 9:00~12:00 各開催場所
午後一全体会 14:00~16:45 くろしおホール
午前中については部会で開催場所、時間等を決めてください。
午後の全体会は、講師の関係で開催時間が13時30分より受付、開会式14時からとなりました。昼の休憩時間が長くなりますが、ご容赦ください。
尚、詳細につきましては、メールにて配信します。ご覧ください。

＜夏休みわくわく子ども体験隊＞

昨年度、好評であった「夏休み子ども体験隊」を今年も開催いたします。

「わくわく科学体験教室」

期日 8月12日(金) 10:00~16:00
内容 低学年-「空気と水」
中学年-「自由電子が見えたなら」
高学年・中学生-「燃焼」
ものづくりコーナー-ドライアイスシャーベット、アイロンビーズ
まきごま、きらきら万華鏡、わたあめ、等の予定
定員 市内小中学生(約180名)
参加費 500円(材料費、保険料等)
*詳細は、後日チラシを配布しますのでご覧ください。

3、「読み」のつまづきがあるため、学習内容の理解が進まない

事例3 C君は(小3)、音読が苦手です。教科書を読むと1文字ずつ読む「逐字読み」になりがちです。読むことだけで精一杯なので、内容の理解が不十分なまま、次の単元に進んでしまうこともあります。

指導例 ①読み間違いのパターンを押さえる

読み間違いにはいくつかの特徴的なパターンがあります。「音読が苦手」という一言でまとめるのではなく、普段の行動からどのような間違い方をしているのかを整理することから始めます。

- ・1文字ずつばらばらにして「フ、ジ、サ、ン」と読んでしまう。
- ・単語を別の言葉に勝手に言い換えてしまう。
- ・他の行に飛ばし読みしてしまう。
- ・自分が読む順番になっていることが分からなくなってしまう。 等

②分ち書きのスラッシュ(/)をつける

単語のまとまりを目でとらえやすくするために、分ち書きをします。すでに知っている言葉や日常的に繰り返し使っている言葉は、比較的、目にとまりやすいため、その単語にまつわるエピソードと結びつけて教えたり、実際に身体を動かしてイメージを持たせたりすると、音読しやすくなります。

あかるい / 朝です

③文字と音を結びつける力を育てる

文字に対応した的確な音を結びつける力(例えば、「あ」の文字を「a」と発音する)が弱いと、逐字読みの時期が長く続きます。しりとり遊び、単語を逆から読み返す「逆読み遊び」、単語の真ん中の文字を抜き取って言い返す「中抜き言葉遊び」、特定の音が何番目の文字にあたるかを答える「この音、何番目?クイズ」などの言葉遊びの時間を設定し、音と文字を結びつける力を育てる。

4、「書き」のつまづきがあるため、学習活動に参加することが難しい

事例4 D君は(小6)書くこと全般が苦手です。漢字テストでは誤答や空欄が多く、書いても枠からはみ出してしまいます。黒板の文字の書き写しも、整った文字が書けません。作文はひらがなが多く、鏡文字も見られます。

指導例 ①記憶しやすい覚え方の工夫を

D君には、「繰り返し、たくさん書かせる」ような指導はうまくいきません。記憶に残りやすく、思い出しやすい工夫を行う必要があります。語呂合わせや、漢字の成り立ちなどの視覚的イメージの付加が有効です。また編(へん)と旁(つくり)などの分類よりも、日常生活で使われる言葉でイメージを深めるとよいようです。(例えば、「劇」であれば “3階建

て”、3階部分には“上”、1階部分には“家”の漢字と似ている部分がある、など)

②方法よりも、何をねらいとするのかを明確に

支援方法の工夫を考える前に、書かねば本当に理解が進まないのかをもう一度考えましょう。D君のように、書くことに費やすエネルギーがとてもし大きい場合は、書き写すことに精一杯で、何を学ばよいか分からなかったと話す子が少なくありません。理解を進めることが最優先なのであれば、板書する内容のほとんどを記載したワークシートを渡し、キーワードを記入させるなどの、負担の少ない方法がよいと思います。

③パソコンでの課題提出など、柔軟な対応を

「書き」のつまづきのあるこの多くが、小学校3~4年生で「頑張っても書けない」ことに気づいたと話しています。毎夜遅くまで宿題に取り組み、それでも書けず、友だちがそれほど努力をせずに習得していく様子に気づき始めるのが10歳前後というわけです。二次的な影響として、わざと授業中にふざけたり、ごまかしたりすることもあります。学ぶ意欲を失わせないようにするためにも、パソコンでの課題提出など柔軟な対応が求められます。

<七月の歳時記>

新暦と同様、旧暦でも七月は七夕の月です。旧暦の七月を「文月」と呼ぶのは、七夕行事にちなみ、短冊に詩歌などの文を書き、書道の上達を祈ったことに由来するとされています。また、稲穂が大きく育つ頃なので、「含^{ふくみづき}月」が「ふみづき」に転じたとも言われています。

7月1日は霊峰富士の山開き。各登山口には、白装束に金剛杖を持った行者が全国各地から集まり、「六根清浄」と唱えながら登り始めます。

日本では昔から山岳信仰が盛んで、山は神聖視されていたため、通常、霊山には山伏や僧侶しか立ち入ることができませんでした。その禁を解き、夏の一定期間に限って一般の人々にも入山を許可するようになったのが山開きです。

霊山・巡礼で唱えられる「六根清浄」は、六根とは「眼耳鼻舌身意」(「意」は心を指す)を総称する仏教語で、身体の器官とその働きを表します。六根清浄には、山の自然と一体となって六根を清らかにし、見るもの聞くものなどにとらわれた心を無にするという意味が込められています。ちなみに、「どっこいしょ」というかけ声は、この六根清浄が訛ったものと言われています。

<自作ポエム>—清水高校定時制文集「夜光虫」より

幸せ

幸せなことってなんだろうと 思ったことがある
幸せがどこからくるのか わからない時がある
幸せは見えないし さわることができない
もし見えたりさわれたら 人は幸せになると思う